

令和3年度 中海・宍道湖・大山圏域市長会 事業計画（案）

01 事務局運営費

1 事務局運営費

事業名等	事務局運営費		
事業概要	令和2年度予算額	19,400,000 円	
中海・宍道湖・大山圏域市長会事務局の運営にかかる経費。 圏域市長会の円滑な運営を図るため、市長会規約第11条第1項の規定に基づき、事務局を置く。	令和3年度予算額	12,700,000 円	
	財源内訳	国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		負担金	特定
一般	3,700,000 円		

1. 事業内容

(1) 各種会議の開催

総会
 幹事会
 企画担当課長会
 産業振興担当課長会
 観光振興担当課長会
 環境保全担当課長会
 総合戦略推進委員会 ほか

(2) 事務局の運営

2. 経費内訳

費目	R3 予算	R2 予算	比較	備考
会議費	420,000	420,000	0	
旅費	300,000	300,000	0	
需用費	1,400,000	1,279,000	121,000	
役務費	500,000	378,000	122,000	
委託料	40,000	40,000	0	
使用料及び賃借料	840,000	833,000	7,000	
備品購入費	200,000	150,000	50,000	
人件費負担金①	5,000,000	12,000,000	△ 7,000,000	事務局長人件費
人件費負担金②	4,000,000	4,000,000	0	事務局員人件費
計	12,700,000	19,400,000	△ 6,700,000	

1 活力にあふれる圏域づくり（産業振興）

事業項目	01 圏域企業の産業連携支援事業				
事業名	圏域内企業情報データベースの充実、圏域内企業のビジネスマッチング				
事業概要			令和2年度予算額	8,500,000 円	
			令和3年度予算額	8,500,000 円	
圏域内の経済団体・行政で構成する「中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業実行委員会」と連携し、圏域内企業の連携支援を行う。	財源内訳	国・県支出金		0 円	
		補助金		0 円	
		負担金	特定		5,000,000 円
			一般		3,500,000 円

1. 事業内容

(1) 圏域内企業情報データベースの充実

圏域内企業間での産業連携や域外企業との新たな事業連携を促進するため、「圏域ものづくり.net」の掲載企業情報を質・量ともに充実させ、圏域内外企業へ向けた情報発信をさらに強化していく。

(2) 圏域内企業のビジネスマッチング

ビジネスマッチング（商談会・名刺交換会）を開催することで、販路拡大、共同開発、技術支援、業務提携の促進等、圏域経済の活性化を図る。

「ビジネスマッチング商談・展示会 2021（境港市開催予定）」

2. 経費内訳

中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業実行委員会への委託料 8,500,000 円

【財源】

ものづくり実行委員会負担金 5,000,000 円（1,000,000 円/市）

事業項目	01 圏域企業の産業連携支援事業				
事業名	産学・医工連携事業				
事業概要			令和2年度予算額	18,200,000 円	
			令和3年度予算額	9,100,000 円	
圏域内の商工団体、自治体、国立大学、国立工業高等専門学校、研究機関等で構成する「中海・宍道湖・大山圏域産学・医工連携推進協議会」と連携し、圏域内企業の産学・医工連携支援を行う。	財源内訳	国・県支出金		0 円	
		補助金		0 円	
		負担金	特定		0 円
			一般		9,100,000 円
<p>1. 事業内容</p> <p>圏域の自治体、事業者、病院、国立大学等の産官学で行われている医工連携の取組促進により、産業振興、雇用創出等を図るため、圏域内の商工団体、自治体、国立大学等で構成する「中海・宍道湖・大山圏域産学・医工連携推進協議会」へ業務委託し、産学・医工連携の取組における各種ニーズとシーズのマッチング機会の提供（入口支援）、研究への指導・助言等（開発支援）及び製品化された器具の販路開拓（出口支援）等、各段階における支援を行う。</p> <p>(1) ニーズの発掘、調査及び案件化 ○圏域内各医療機関等のニーズ案件に関する調査・検討 ○実現精度の高いニーズの具現化</p> <p>(2) 医療・福祉・介護機器の開発支援 ○ニーズ案件の試作・実用化・臨床化等支援 ○各種相談支援（マッチング支援、開発支援、販路開拓支援）</p> <p>(3) 調査研究報告・勉強会・情報共有会の開催 賛助会員交流会の開催（賛助会員数：79社（R2.12月末現在））</p> <p>(4) 普及広報活動 ホームページ、圏域企業ガイドブック等の活用による情報発信</p> <p>2. 経費内訳</p> <p>中海・宍道湖・大山圏域産学・医工連携推進協議会への委託料 9,100,000 円</p>					

事業項目	02 圏域内企業の海外展開支援事業			
事業名	ロシアへの販路拡大支援事業			
事業概要			令和2年度予算額	— 円
			令和3年度予算額	— 円
	財源内訳	国・県支出金		— 円
		補助金		— 円
		負担金	特定	— 円
一般	— 円			

1. 事業内容

鳥取県版「ロシア中小企業・人的交流分野における協力プラットフォーム」事業と島根県事業（商社への委託事業等）を活用し、ロシアへのビジネス展開支援を図る。

[参考]

鳥取県版「ロシア中小企業・人的交流分野における協力プラットフォーム」（H29.3月設立）

○構成団体

国、国団体、経済団体、金融機関、大学、文化・スポーツ団体、観光関連団体・企業、県内自治体、鳥取県 ※中海・宍道湖・大山圏域市長会も参画している。

○事務局

鳥取県商工労働部通商物流課

○取組内容

- ・日露双方の企業・貿易情報の共有とビジネスマッチングの推進
- ・勉強会、セミナー等の開催
- ・有望分野のビジネス案件の重点推進
- ・見本市等への参加、フォーラムの実施、ミッション派遣
- ・日露経済協力プランの推進や県外企業の日露ビジネスの需要の取込み
- ・国レベルでの課題解決の要望、事業提案及び関する国等の事業の取込み
- ・観光交流の推進
- ・文化・スポーツ・青少年交流の推進

事業項目	02 圏域内企業の海外展開支援事業							
事業名	海外商談会参加等支援事業							
事業概要			令和2年度予算額	1,500,000 円				
			令和3年度予算額	850,000 円				
	財源内訳	国・県支出金		0 円				
		補助金		0 円				
		負担金	特定	0 円				
一般	850,000 円							
<p>海外で行われる商談会等に参加する圏域内の企業へ補助金交付等を行い、海外展開やインバウンドの推進に繋がる取組を支援する。</p>								
<p>1. 事業内容</p> <p>(1) 海外商談会参加等支援補助金 海外での商談会等へ参加する圏域内の企業に対し補助金を交付する。 ・実施期間 令和3年5月1日～令和4年3月31日 ・募集期間 令和3年5月1日～令和4年1月31日 ・対象者 圏域5市に本社または主たる事業所を有する中小企業等または複数の企業により構成されるグループ・団体 ・補助金額 原則、補助対象経費の1/2 補助上限額10万円 ただし、以下の場合、①～②に応じた補助率、補助上限額。 ①ロシア、韓国、中国、インド及び台湾での商談会等に参加する場合 補助対象経費の2/3 補助上限額15万円 ②前年度以前（H24～）に補助金の交付を受けている場合 補助対象経費の1/4 補助上限額10万円 ・申請回数限度 同一の申請者は、同一年度に1回かつ通算3回を申請限度とする。 ただし、ロシア、韓国、中国、インド及び台湾での商談会等参加の場合は、通算4回目の申請を認める。</p> <p>(2) 中国越境ECサービス説明会の開催 (株)ACD（ANAの関連会社）が展開する中国越境ECサービス「全日空^{ハイタオ}海淘」の説明会を開催し、圏域内企業の中国への販路開拓支援及びインバウンド対策を図る。</p>								
<p>2. 経費内訳</p> <table> <tr> <td>海外商談会参加等支援補助金</td> <td>750,000 円</td> </tr> <tr> <td>中国越境ECサービス説明会開催経費</td> <td>100,000 円</td> </tr> </table> <p>※海外商談会参加等支援補助金経費額については、新型コロナウイルス感染症の影響を見込んだ内容であるため、上記状況回復等に伴う予算不足が生じた場合は、必要に応じて別途補正予算対応。</p>					海外商談会参加等支援補助金	750,000 円	中国越境ECサービス説明会開催経費	100,000 円
海外商談会参加等支援補助金	750,000 円							
中国越境ECサービス説明会開催経費	100,000 円							

事業項目	02 圏域内企業の海外展開支援事業			
事業名	インドとの経済交流事業			
事業概要	令和2年度予算額		16,620,000 円	
	令和3年度予算額		14,316,000 円	
インドケララ州との経済交流拡大を目指す覚書(MOU)の締結に基づき、企業進出やビジネスマッチング等の実現のため、密接な協力体制の構築支援、情報交換、視察交流等を行う。	財源内訳	国・県支出金	0 円	
		補助金	※申請中 0 円	
		負担金	特定	0 円
			一般	14,316,000 円
<p>1. 事業内容</p> <p>平成27年にインド・ケララ州と締結した経済交流を拡大する覚書(MOU)の具体化を図るため、山陰インド協会等の関係団体と連携し、インド人材の確保実現を図るためIT等理系分野のインターンシップを実施する。</p> <p>また、インド側が開催する「Japan Mela (ジャパンメラ)」(印日商工会ケララ主催)に出展し、圏域内企業の商談機会を設け、圏域内企業の海外進出支援に取り組む。</p> <p>(1) インターンシップの開催</p> <p>① ラジャギリ工業技術大学から島根大学への留学生(最大4名) インターンシップ期間: 留学期間6カ月のうち2カ月程度</p> <p>② インドケララ州の大学生(6名・コチ理工大学/ラジャギリ工業技術大学/SCMS) インターンシップ期間: 2週間以内</p> <p>(2) (1)の学生に対するオンライン日本語教育支援 島根大学留学生(上記①) 教育期間: 4月~8月 インターンシップ生(上記②) 教育期間: 6月~2月</p> <p>(3) ジャパンメラ参加 参加企業数: 10社程度</p> <p>2. 経費内訳</p> <p>○インド人材受入・企業連携推進事業実行委員会への委託費 9,646,000 円 インターンシップ開催 6,146,000 円 ※1 日本語教育支援 3,000,000 円 ※2 事務費 500,000 円 ○ジャパンメラ参加費 ※3 4,670,000 円</p> <p>【財源】</p> <p>・(一社)自治体国際化協会(クレア) 自治体国際協力促進事業(モデル事業)助成金(10/10 上限5,000千円) 上記※1,2について申請中</p> <p>・(一社)自治体国際化協会(クレア) 経済活動助成事業(海外販路開拓支援・インバウンド支援)助成金 (1/2以内 上限1,135千円 R2決定額) 上記※3について申請中</p>				

事業項目	02 圏域内企業の海外展開支援事業												
事業名	台湾との経済交流事業												
事業概要			令和2年度予算額	3,250,000 円									
			令和3年度予算額	3,188,000 円									
	財源内訳	国・県支出金		0 円									
		補助金		0 円									
		負担金	特定	0 円									
一般			3,188,000 円										
<p>市長会と台北市との新たな覚書の締結に合わせ、セミナーを開催し海外展開への機運の醸成を図る。また春節前建国花市に合わせて圏域PRを行う。</p>													
<p>1. 事業内容 圏域市長会と台北市との間で交流促進覚書を締結するとともに、セミナーを開催し海外展開への機運の醸成を図る。 また、春節前建国花市に合わせた圏域PR、圏域内企業の「フード台北2021（台北国際食品展）」、「TJ Connect Fair2021」（日台総合産業マッチング大会）への参加を支援する。</p>													
<p>2. 経費内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) 圏域内企業、支援機関、行政向けの台湾セミナー開催経費</td> <td>300,000 円</td> </tr> <tr> <td>(2) 現地通訳・台北市政府等とのコーディネート業務</td> <td>550,000 円</td> </tr> <tr> <td>(3) フード台北2021、TJ Connect Fair2021等への参加企業支援 (当該参加に係る海外商談会参加等支援補助金予算含む)</td> <td>750,000 円</td> </tr> <tr> <td>(4) 覚書をもとにした交流事業事前協議（職員2名 2泊3日）</td> <td>588,000 円</td> </tr> <tr> <td>(5) 交流促進覚書締結来圏対応経費</td> <td>1,000,000 円</td> </tr> </table> <p>※春節前建国花市での圏域PR経費（予算未計上）、フード台北等参加企業支援経費額については、新型コロナウイルス感染症の影響を見込んだ内容であるため、上記状況回復等に伴う予算不足が生じた場合は、必要に応じて別途補正予算対応。</p>				(1) 圏域内企業、支援機関、行政向けの台湾セミナー開催経費	300,000 円	(2) 現地通訳・台北市政府等とのコーディネート業務	550,000 円	(3) フード台北2021、TJ Connect Fair2021等への参加企業支援 (当該参加に係る海外商談会参加等支援補助金予算含む)	750,000 円	(4) 覚書をもとにした交流事業事前協議（職員2名 2泊3日）	588,000 円	(5) 交流促進覚書締結来圏対応経費	1,000,000 円
(1) 圏域内企業、支援機関、行政向けの台湾セミナー開催経費	300,000 円												
(2) 現地通訳・台北市政府等とのコーディネート業務	550,000 円												
(3) フード台北2021、TJ Connect Fair2021等への参加企業支援 (当該参加に係る海外商談会参加等支援補助金予算含む)	750,000 円												
(4) 覚書をもとにした交流事業事前協議（職員2名 2泊3日）	588,000 円												
(5) 交流促進覚書締結来圏対応経費	1,000,000 円												

事業項目	03 山陰いいものマルシェプロジェクト				
事業名	山陰いいものマルシェプロジェクト				
事業概要			令和2年度予算額	7,500,000 円	
			令和3年度予算額	7,500,000 円	
山陰の中核地域である中海・宍道湖・大山圏域の官民組織が連携し、山陰が誇る「いいもの」を再発掘するとともに、JR西日本等とタイアップし、全国へ情報発信をする。	財 源 内 訳	国・県支出金		0 円	
		補助金		0 円	
		負担金	特定		0 円
			一般		7,500,000 円
<p>1. 事業内容</p> <p>JR西日本、山陰中央新報社、ジェトロ、ブロック経済協議会及び圏域市長会の5者で構成する「山陰いいものマルシェプロジェクト実行委員会」と協定を締結し実施する。圏域内マルシェと商談会については、令和2年度から再度5市を一巡開催し、「地産外消」の一層の拡大を図る。</p> <p>(1) 圏域内でのマルシェ及び商談会の開催</p> <p>(2) 圏域外でのマルシェ開催、協力事業</p> <p>2. 経費内訳</p> <p>山陰いいものマルシェプロジェクト実行委員会への負担金 7,500,000 円</p>					

2 訪ねてみたい圏域づくり（観光振興）

事業項目	01 一社) 圏域観光局への負担金		
事業名	一社) 圏域観光局への負担金		
事業概要		令和2年度予算額	47,726,000 円
一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局との協定に基づき、観光事業に対する負担金を支出する。	財 源 内 訳	令和3年度予算額	57,385,000 円
		国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		負担金	特定 6,468,000 円 一般 50,917,000 円
<p>1. 事業内容</p> <p>・「訪ねてみたい圏域づくり観光振興事業」の実施に関する協定書（案）のとおり 別紙1</p> <p>2. 経費内訳</p> <p>令和3年度中海・宍道湖・大山圏域観光局事業計画（案）・予算（案）に基づく 別紙2</p> <p>*訪ねてみたい圏域づくり事業を一括計上</p>			

3 住みたくなる圏域づくり（環境の充実）

事業項目	01 自然環境の保全・活用事業			
事業名	自然環境の豊かさ・保全に係る普及啓発			
事業概要			令和2年度予算額	1,800,000 円
			令和3年度予算額	1,800,000 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		負担金	特定	0 円
一般			1,800,000 円	

1. 事業内容

ラムサール条約登録湿地である中海・宍道湖をはじめとする圏域の豊かな自然や環境について、圏域の子どもたちへ体験を通して学習できる機会提供や情報発信等を行い、圏域の自然環境の普及啓発や保全、また、持続可能な開発目標（SDGs）に向けた取組の推進を図る。

(1) 子ども探検スクールの開催

① 自然環境学習

中海、宍道湖など圏域の豊かな自然や環境を、子どもたちが現地で学習できる機会を提供する。（例：中海・宍道湖の水鳥観察、海岸漂着ごみから学ぶ）

② 環境エネルギー学習

圏域の自然や環境施設等を活用して、子どもたちが環境エネルギーについて学べる機会を提供する。（例：再生可能エネルギー関連施設や圏域企業との連携学習）

(2) 自然環境の豊かさや保全等に係る情報発信

各関係団体の取組との連携や子ども向け新聞等による情報発信、ノベルティグッズの活用等により、圏域の自然環境に関する普及啓発を図る。

2. 経費内訳

子ども探検スクールの開催	1,650,000 円
自然環境の豊かさや保全等に係る情報発信	150,000 円

事業項目	02 安心して暮らすことのできる環境づくり事業				
事業名	防災対策の充実				
事業概要			令和2年度予算額	500,000 円	
			令和3年度予算額	500,000 円	
安全に安心して暮らすことのできる環境づくりを目指し、圏域が一体となり、広域的な防災体制の構築に向けた取組を行う。	財源内訳	国・県支出金		0 円	
		補助金		0 円	
		負担金	特定		0 円
			一般		500,000 円

1. 事業内容

- 中海・宍道湖・大山圏域防災連絡協議会の開催及び防災資機材等の購入
- ・各市防災担当課による連絡協議会を開催（連絡協議会幹事市：松江市）
 - ・災害発生時等において、各市間で融通し使用する防災資機材の購入

2. 経費内訳

防災資機材の購入経費等 500,000 円

[連絡協議会幹事市（参考）]

H29：境港市、H30：米子市、R1：安来市、R2：出雲市、R3：松江市 ※以降、左記輪番制

4 とともに歩む圏域づくり（連携と協働）

事業項目	01 圏域情報の共有・発信										
事業名	圏域内外へのエリアプロモーション										
事業概要		令和2年度予算額	302,000 円								
圏域振興ビジョンに示す圏域の将来像、ビジョンや市長会の活動の広報周知に努めるとともに、圏域内での一体感醸成、圏域外における認知度向上のための情報発信を行う。		令和3年度予算額	3,600,000 円								
	財源内訳	国・県支出金	0 円								
		補助金	0 円								
		負担金	特定	0 円							
一般	3,600,000 円										
<p>1. 事業内容</p> <p>(1) ホームページ等を活用した圏域内外への広報周知 ホームページ管理業務委託</p> <p>(2) 圏域のケーブルテレビを活用した情報発信 構成市のケーブルテレビネットワークを活用しながら共同番組を制作し、圏域情報の発信をおこなう。 (方法) 島根県ケーブルテレビ協議会に依頼し15分程度の番組を制作。その番組を中海テレビでも放送する。 (放映) 1番組 島根県側20回程度、中海テレビ20回程度 (内容) 市長会活動、環境学習、観光情報 (経費) 概算900,000円×2回</p> <p>(3) 中海・宍道湖・大山圏域市長会発足10周年記念事業 平成24年に発足した圏域市長会の10周年を節目として、過去の取組みを振り返るとともに、圏域の総合的・一体的な発展を一層推進することを目的に記念事業を行う。 (案) 記念講演会の開催、新聞広告</p> <p>2. 経費内訳</p> <table> <tr> <td>・ホームページ運用管理委託料</td> <td>300,000 円</td> </tr> <tr> <td>・圏域のケーブルテレビを活用した情報発信</td> <td>1,800,000 円</td> </tr> <tr> <td>・中海・宍道湖・大山圏域市長会発足10周年記念事業</td> <td>1,500,000 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,600,000 円</td> </tr> </table>				・ホームページ運用管理委託料	300,000 円	・圏域のケーブルテレビを活用した情報発信	1,800,000 円	・中海・宍道湖・大山圏域市長会発足10周年記念事業	1,500,000 円	計	3,600,000 円
・ホームページ運用管理委託料	300,000 円										
・圏域のケーブルテレビを活用した情報発信	1,800,000 円										
・中海・宍道湖・大山圏域市長会発足10周年記念事業	1,500,000 円										
計	3,600,000 円										

事業項目	02 圏域内の連携・交流推進			
事業名	圏域内の連携・交流推進			
事業概要			令和2年度予算額	3,810,000 円
圏域内の行政間や民間団体間、行政と民間団体等の更なる連携と交流を図る。			令和3年度予算額	7,110,000 円
	財 源 内 訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		負担金	特定	2,450,000 円
一般	4,660,000 円			
<p>1. 事業内容</p> <p>圏域で一体となって推進すべき事業の精査、検討を行い、各市、各団体間での連携・交流推進を図るとともに、特定の課題に対して各市間、および各団体との意見交換の場を設けるなど、連携を促進するための仕掛けづくりを行う。</p> <p>(1) 中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会との連携推進</p> <p>(2) 圏域内インフラ（中海架橋、米子道（蒜山 IC～境港間）、境港出雲道路、境港米子道路、境港整備、新幹線整備など）の整備促進に関する要望活動の実施等、圏域一体となって取り組む事業の推進・強化</p> <p>(3) 全国街道交流会議第13回全国大会の開催（市長会発足10周年記念事業）</p> <p>○意見交換会、合同勉強会の開催経費 中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会との合同勉強会の開催経費</p> <p>○圏域内連携事業推進経費（要望活動旅費等） 圏域内インフラの整備促進に関する要望活動に係る経費</p> <p>○中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議負担金</p> <p>○全国街道交流会議第13回全国大会 「小泉八雲の文学世界」共通テーマに、小泉八雲の感性で描かれた各地域の魅力を文化資源として磨き上げ、次世代につなげるとともに、観光資源としても広く発信し、圏域一体を周遊ルートとして結びつける。これを機会に、人々の往来を一層促進させ、将来的な圏域交通「8の字ルート」整備への機運醸成につなげていく。</p> <p>2. 経費内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会、合同勉強会の開催経費 240,000 円 ・圏域内連携事業推進経費（要望活動旅費等） 1,120,000 円 ・中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議負担金 2,450,000 円 ・全国街道交流会議第13回全国大会実行委員会負担金 3,300,000 円 計 7,110,000 円 				

事業項目	02 圏域内の連携・交流推進			
事業名	人材育成の共同化			
事業概要			令和2年度予算額	1,200,000 円
			令和3年度予算額	2,000,000 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		負担金	特定	0 円
一般	2,000,000 円			

1. 事業内容

中海・宍道湖・大山圏域の未来を切り開く推進力となる人材育成を目的に、中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会と共同で研修会を開催し、受講者が多彩な分野の講師による経験・理論を学んで視野を広げるとともに、企画力・想像力を磨く機会を提供する。

また、受講者同士の交流を通じて業種や地域の垣根を越えた人的ネットワークの構築を推進する。

また、圏域の人材育成の取組として、新たに SDG s の普及支援、発明楽コンテストの開催支援を行う。

(1) 官民が連携した人材育成研修の実施

「山陰まんなか未来創造塾」の開催

(2) 圏域未来人材の育成

・SDG s の普及支援

SDG s の普及促進を図るため、圏域内事業者や行政を対象とした研修会等を行う。また、圏域内事業者の SDG s 認定に向けた取り組みの検討をおこなう。

・発明楽コンテスト開催支援

圏域の高校生を中心とした次世代の産業人材の育成及び技術・製品開発能力の向上に向けた機運醸成を目的とした発明楽コンテストに対し、支援をおこなう。

2. 経費内訳

・山陰まんなか未来創造塾実行委員会への負担金	1,200,000 円
・SDG s 普及支援事業	300,000 円
・発明楽普及支援事業	500,000 円
計	2,000,000 円

事業項目	02 圏域内の連携と協働			
事業名	文化・スポーツ交流促進事業			
事業概要			令和2年度予算額	3,500,000 円
			令和3年度予算額	3,500,000 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		負担金	特定	0 円
一般	3,500,000 円			
圏域内の歴史資源、伝統芸能、スポーツ、芸術など、相互交流を推進することにより、魅力ある圏域を知り、心豊かな生活環境を創出する。				
<p>1. 事業内容</p> <p>(1) 圏域内の文化・スポーツ交流促進事業の実施、支援等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを通じた圏域交流イベントの開催 ・文化・スポーツ等の圏域交流イベントへの支援 <li style="padding-left: 20px;">文化・スポーツ交流促進事業補助金 <li style="padding-left: 40px;">補助金額 補助対象経費の1/2（補助上限額：新規事業20万円、継続事業10万円） ・各市で開催されるイベントにおける伝統芸能の披露など交流事業の実施 <li style="padding-left: 20px;">各種イベントへの交流事業経費 <p>(2) 東京オリンピック・パラリンピックとつながりを持ちながら、圏域の情報をPRする取組を実施</p> <p>2. 経費内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを通じた圏域交流イベントの開催 1,000,000 円 <li style="padding-left: 20px;">スポーツ交流事業企画運営業務委託料 ・文化・スポーツ等の圏域交流イベントへの支援 1,000,000 円 <li style="padding-left: 20px;">文化・スポーツ交流促進事業補助金 ・イベント交流事業の開催 1,500,000 円 <li style="padding-left: 20px;">イベント交流事業委託料 @300千円×5市 計 3,500,000 円 				

事業項目	02 圏域内の連携・交流推進				
事業名	圏域情報活用推進事業				
事業概要			令和2年度予算額	0 円	
	圏域市長会構成市等のあらゆる情報を、 圏域の連携事業に活用する。		令和3年度予算額		2,500,000 円
			財源内訳	国・県支出金	0 円
				補助金	0 円
				負担金	特定
一般	2,500,000 円				
<p>1. 事業内容</p> <p>国立大学法人東京大学地域未来社会連携研究機構との連携事業 令和2年2月に締結した国立大学法人東京大学地域未来社会連携研究機構との協定に基づき、地域課題政策立案プログラムを推進する。</p> <p>2. 経費内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅費（機構職員との打ち合わせ等） 300,000 円 ・地域課題政策立案プログラム調査委託経費 2,000,000 円 ・セミナー等の開催経費 200,000 円 <p>計 2,500,000 円</p>					

事業項目	02 圏域内の連携と協働			
事業名	中海・宍道湖レガッタ開催支援事業			
事業概要			令和2年度予算額	200,000 円
			令和3年度予算額	200,000 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		負担金	特定	0 円
一般			200,000 円	
中海・宍道湖の自然環境の保全と賢明利用を推進するため、中海・宍道湖レガッタの開催を支援する。				
<p>1. 事業内容</p> <p>中海・宍道湖を活用したレガッタ大会開催に係る支援</p> <p>中海・宍道湖レガッタ実行委員会に補助金を交付し、大会の円滑な実施を支援するとともに自然環境の保全・活用、エコツーリズムといった観光振興及び圏域内外の交流人口の拡大を図る。</p>				
<p>2. 経費内訳</p> <p>中海・宍道湖レガッタ開催支援補助金 200,000 円</p>				

事業項目	02 圏域内の連携・交流推進		
事業名	移住・定住等促進事業		
事業概要		令和2年度予算額	3,430,000 円
圏域人口60万人の維持に向けた移住・定住等の促進を図る。		令和3年度予算額	2,930,000 円
	財源内訳	国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		負担金	特定
一般	1,530,000 円		
1. 事業内容			
(1) 婚活事業による移住・定住の促進に向けた取組 圏域内に居住、通勤通学または定住を考える独身男女を対象に、結婚相手の出会う機会を創出する。未婚化、晩婚化の改善をはかり、圏域における移住・定住の促進につなげる。			
(2) 東京大学との圏域キャンパス事業 東京大学に通う学生との関わりを持つことで関係人口の創出を図る。また圏域を研究フィールドとして提供し、東京大学と圏域住民及び地元大学との交流を図る。			
(3) 島根大学・若者を共に育てるプロジェクト 島根大学の学生に、圏域の特色・戦略・課題を学ぶ機会を創出し、将来的に圏域で活躍する人材の育成と、若者の地域への定住促進を図る。			
2. 経費内訳			
・婚活に係る経費※ (出会いの場実行委員会への負担金)		1,400,000 円	
・東京大学との圏域キャンパス事業に係る経費 (体験活動・フィードワーク経費)		450,000 円	
・島根大学・若者を共に育てるプロジェクトに係る経費 (島根大学への補助金)		1,080,000 円	
計		2,930,000 円	
【財源】			
結婚に向けた出会いの機会等創出事業補助金（県；鳥取県 1/2）※			

1 環日本海貨客船航路就航支援補助金

事業項目	01 環日本海貨客船航路就航支援補助金		
事業名	定期貨客船航路就航支援補助金		
事業概要		令和2年度予算額	15,600,000 円
北東アジアに向けたゲートウェイ機能の継続のため、鳥取県と共同で、環日本海貨客船航路の運航を支援する。		令和3年度予算額	0 円
	財 源 内 訳	国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		負担金	特定
一般	0 円		
<p>1. 事業内容</p> <p>定期貨客船航路就航支援補助金</p> <p>圏域の基幹的な物流、観光インフラであることから、運航会社の自立的な運航への移行を支えながら、航路の定着、安定化を図るため、運航に必要な経費の一部を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1航次につき、運航経費のうち固定経費の1/10（上限1,000千円） $\text{@}1,000 \text{ 千円} \times 52 \text{ 航次} \times 3/10 = 15,600 \text{ 千円}$ ・負担割合：鳥取県 7/10、市長会 3/10 <p>2. 経費内訳</p> <p>環日本海貨客船航路就航支援補助金 0 円</p> <p>※今後の運航再開の状況等を踏まえて、必要に応じて別途補正予算対応。</p> <p>※令和元年11月からの運休、運航会社の韓国海洋水産部への運航免許返納（令和2年4月）があり、令和2年度は運航なし。</p> <p>[参考]</p> <p>令和2年度当初予算（構成市の負担額） 出雲市・松江市・米子市各 2,000 千円 安来市 1,000 千円 境港市 8,600 千円</p>			

令和3年度 中海・宍道湖・大山圏域観光局 事業計画（案）

02 事業費

2 訪ねてみたい圏域づくり（観光振興）

協定に基づき圏域DMOが実施

事業項目	01 外国人誘客対策事業			
事業名	クルーズ客船寄港時のおもてなし			
事業概要			令和2年度当初予算額	5,000,000 円
			令和3年度予算額	3,950,000 円
	財源内訳	市長会負担金		2,375,000 円
		DMO会費		0 円
		国・県支出金		0 円
		補助金	観光庁	1,575,000 円
その他			0 円	
1. 事業内容				
(1) 岸壁における観光案内・交流イベントの実施				
<ul style="list-style-type: none"> クルーズ客船寄港地である境港市を中心に、市長会5市が協力して、クルーズ客船乗客及びクルー向けの交流イベント（伝統芸能披露、日本文化体験 等）や観光案内を行う。 				
(2) 外国語観光案内業務及びボランティアの募集登録・管理				
<ul style="list-style-type: none"> 外国語による観光案内ができる通訳ボランティアの募集・登録を行い、ボランティアによる観光案内業務を実施。 中海・宍道湖観光協会会議に委託 ※対応可能言語；英語、韓国語、中国語、その他 <p>新型コロナウイルス感染症の拡大状況、各国間との渡航制限の動向を見極め実施することとし、乗客が外国人のクルーズ客船については補正予算対応とする。</p>				
(3) 圏域周遊及び旅行消費拡大の取組				
<ul style="list-style-type: none"> 観光庁補助事業を活用し、コロナ感染症対策をとった受け入れ環境整備及びFIT向け圏域周遊ツアー等を企画実施する。 				
2. 経費内訳		DMO予算額		
<ul style="list-style-type: none"> 観光案内・交流イベントの実施に係る経費 観光案内ボランティア業務に係る経費 コロナ感染症対策、モニターツアー企画実施 		<ul style="list-style-type: none"> 600,000 円 200,000 円 3,150,000 円 		
計		3,950,000 円		
【財源】 観光庁補助 1/2				

事業項目	01 外国人誘客対策事業			
事業名	圏域インバウンドプロモーション			
事業概要			令和2年度当初予算額	18,700,000 円
			令和3年度予算額	11,700,000 円
圏域を一体的に発信する利点を活かし、重要ターゲット国* を定め、JNTO、山陰DMOと役割分担し、国別に有効な観光プロモーションを実施する。 <small>*重要ターゲット国・・・山陽方面に来訪する欧米豪、直通及び近隣の国際路線による東アジア（台湾、香港、上海）</small>	財源内訳	市長会負担金		10,200,000 円
		D M O 会 費		0 円
		国・県支出金		0 円
		補助金	観光庁	1,500,000 円
		その他		0 円
※新型コロナウイルスの感染状況、海外との往来や観光需要の動向を見据えて、弾力的な事業展開を図る。				
1. 事業内容				
(1) 海外への観光プロモーションの実施				
○欧米豪向けプロモーション				
<ul style="list-style-type: none"> ・ J N T O（日本政府観光局）を活用したプロモーション ・ 英語版ホームページによる情報発信 ・ 英語版フェイスブックによる情報発信 				
○台湾、上海向けプロモーション				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 一畑トラベル台湾事務所による現地情報発信 ・ 訪日旅行サイトによる情報発信 ・ W e C h a t ミニプログラムによる情報発信 				
○W E B を活用した情報発信				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光庁補助事業を活用したリモートによる商談会支援（台湾、上海向け） ・ 英語版ホームページの機能追加・改修等 				
○ S N S（Facebook, Instagram 等）運用委託				
2. 経費内訳				
				DMO予算額
・ J N T O 賛助会員会費				300,000 円
・ 欧米豪向けプロモーション				2,000,000 円
・ 台湾、上海向けプロモーション				3,000,000 円
・ W E B を活用した情報発信				6,400,000 円
計				11,700,000 円
【財 源】 観光庁補助 1/2				

事業項目	02 国内誘客対策事業										
事業名	国内広域観光プロモーション										
事業概要		令和2年度当初予算額	2,000,000 円								
	国内旅行市場に大きな成長は見込めないが、全体に占める観光消費は高いことから広域的に多様な情報を発信して誘客を促進し、圏域への経済効果を高める。		令和3年度予算額	12,100,000 円							
財 源 内 訳		市長会負担金	12,100,000 円								
		D M O 会 費	0 円								
		国・県支出金	0 円								
		補助金	0 円								
		その他	0 円								
<p>※従来の事業区分を見直し、「国内広域プロモーション」とする。</p> <p>※新型コロナウイルスの感染状況、国内観光需要の動向を見据えて、弾力的な事業展開を図る。</p> <p>1. 事業内容</p> <p>(1) クロスメディアによる情報発信事業【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> 近年主流になりつつある経済効率の優れた広告媒体を利用したクロスメディアの手法により、総合的なメディアアプローチを実施 <p>(2) WEBによるプロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本語版ホームページの拡充 フェイスブックページ、インスタグラムを活用し旬の観光情報や、圏域の魅力を情報発信 <p>2. 経費内訳</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">DMO 予算額</td> </tr> <tr> <td>・クロスメディアによる情報発信事業</td> <td style="text-align: right;">10,600,000 円</td> </tr> <tr> <td>・WEBによるプロモーション</td> <td style="text-align: right;">1,500,000 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">12,100,000 円</td> </tr> </table>					DMO 予算額	・クロスメディアによる情報発信事業	10,600,000 円	・WEBによるプロモーション	1,500,000 円	計	12,100,000 円
	DMO 予算額										
・クロスメディアによる情報発信事業	10,600,000 円										
・WEBによるプロモーション	1,500,000 円										
計	12,100,000 円										

事業項目	02 国内誘客対策事業														
事業名	人口集積地（発地型）誘客プロモーション事業														
事業概要			令和2年度当初予算額	14,800,000 円											
			令和3年度予算額	10,500,000 円											
人口集中地域である大都市部をターゲットとし、圏域の魅力や観光資源を積極的に情報発信し、圏域の認知度向上、観光誘客を図る。	財 源 内 訳	市長会負担金		10,500,000 円											
		D M O 会 費		0 円											
		国・県支出金		0 円											
		補助金		0 円											
		その他		0 円											
<p>※従来の事業区分を見直し、「国内広域プロモーション」とする。</p> <p>※新型コロナウイルスの感染状況、国内観光需要の動向を見据えて、弾力的な事業展開を図る。</p> <p>1. 事業内容</p> <p>(1) 基幹交通機関と連携した観光プロモーションの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J R 西日本と連携した事業実施（大阪、岡山での誘客プロジェクト） ・ 航空機と連携した事業 <ul style="list-style-type: none"> F D A 路線と連携した誘客プロジェクト 出雲縁結び空港及び米子鬼太郎空港・・・「21 世紀出雲空港整備利用促進協議会」及び「米子空港利用促進懇話会」が実施する両空港の冬季利用促進事業 <p>(2) マイクロツーリズムの促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 南北軸を結ぶ山陽、四国方面を中心としたメディアプロモーション <p>2. 経費内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">DMO 予算額</td> </tr> <tr> <td>・ J R と連携した誘客事業</td> <td style="text-align: right;">500,000 円</td> </tr> <tr> <td>・ F D A 路線と連携した誘客事業</td> <td style="text-align: right;">3,500,000 円</td> </tr> <tr> <td>・ 出雲縁結び空港及び米子鬼太郎空港の冬季利用促進経費 (750,000 円×2 空港)</td> <td style="text-align: right;">1,500,000 円</td> </tr> <tr> <td>・ マイクロツーリズム促進</td> <td style="text-align: right;">5,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">10,500,000 円</td> </tr> </table>					DMO 予算額	・ J R と連携した誘客事業	500,000 円	・ F D A 路線と連携した誘客事業	3,500,000 円	・ 出雲縁結び空港及び米子鬼太郎空港の冬季利用促進経費 (750,000 円×2 空港)	1,500,000 円	・ マイクロツーリズム促進	5,000,000 円	計	10,500,000 円
	DMO 予算額														
・ J R と連携した誘客事業	500,000 円														
・ F D A 路線と連携した誘客事業	3,500,000 円														
・ 出雲縁結び空港及び米子鬼太郎空港の冬季利用促進経費 (750,000 円×2 空港)	1,500,000 円														
・ マイクロツーリズム促進	5,000,000 円														
計	10,500,000 円														

事業項目	02 国内誘客対策事業		
事業名	圏域観光再生支援プログラム		
事業概要		令和2年度予算額(第1号補正)	16,574,000 円
令和2年度補正予算「アフターコロナ緊急対策事業」に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている観光産業の再生を支援するとともに、回復期に合わせた海外への継続的な情報発信と受け入れ環境の整備に取り組む。	財 源 内 訳	令和3年度予算額	10,000,000 円
		市長会負担金	10,000,000 円
		DMO会費	0 円
		国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		その他	0 円
1. 事業内容			
(1) マイクロツーリズムに対応した現地プロモーション			
・南北軸を結ぶ山陽、四国方面を中心とした現地プロモーション			
(2) 周遊促進キャンペーン			
・温泉、窯元、城等の圏域内の素材をテーマとした周遊促進を図る			
(3) 感染症予防対策と両立した情報発信			
・テレビCM等による安心安全のPR、周知啓発			
2. 経費内訳			
・マイクロツーリズムに対応したプロモーション		DMO予算額	3,000,000 円
・周遊促進キャンペーン			5,000,000 円
・感染症予防対策と両立した情報発信			2,000,000 円
計			10,000,000 円

事業項目	03 圏域観光の魅力アップ事業		
事業名	圏域周遊促進及び受入環境充実		
事業概要		令和2年度当初予算額	10,252,000 円
地域連携DMOの役割である「かせげる圏域づくり」を目指し、圏域観光の魅力を充実させ、国内外から圏域へ来訪する観光客の受け入れの充実を図るなど、リピーターの確保に繋がる取組を実施する。	財 源 内 訳	令和3年度予算額	18,300,000 円
		市長会負担金	6,960,000 円
		DMO会費	6,840,000 円
		国・県支出金	0 円
		補助金 観光庁	4,500,000 円
		その他	0 円
1. 事業内容			
(1) 外国人観光客受入環境整備の実施			
<ul style="list-style-type: none"> ・表示物等整備（多言語化支援（翻訳サービス、観光庁直轄事業の活用）） ・観光案内所ネットワーク化の推進（観光案内所連絡会にて研修等の実施） ・キャッシュレス化の推進と免税店登録拡大の研修会など業種別連絡会を通じた取組み 			
(2) テーマ別コンテンツの磨き上げ			
<ul style="list-style-type: none"> ・観光庁補助事業を活用したクラフトツーリズム誘客推進（グローバルコンテンツ造成） ・観光庁補助事業を活用した温泉宿泊施設を活用した観光商品造成 			
(3) 周遊促進キャンペーン【再掲：圏域観光再生支援プログラム】			
<ul style="list-style-type: none"> ・温泉、窯元、城等の圏域内の素材をテーマとした周遊促進を図る 			
(4) 圏域内大型イベントと連携した周遊促進			
<ul style="list-style-type: none"> ・ジオパーク全国大会、Sea 級グルメ等 			
(5) 「縁むすびスマートナビ」の活用			
<ul style="list-style-type: none"> ・運用委託、活用検討会の実施 			
(6) 各種事業との連携及びノベルティ・パンフレット作成等			
2. 経費内訳		DMO 予算額	
・外国人観光客受入環境整備		1,340,000 円	
・テーマ別コンテンツの磨き上げ		9,000,000 円	
・「縁むすびスマートナビ」アプリ維持管理・運用業務委託		6,468,000 円	
・各種事業との連携及びノベルティ、パンフレット作成等経費		1,492,000 円	
計		18,300,000 円	
【財源】 観光庁補助 1/2			

事業項目	04 中海・宍道湖・大山圏域観光局事務局運営費											
事業名	中海・宍道湖・大山圏域観光局の運営											
事業概要			令和2年度当初予算額	7,700,000 円								
			令和3年度予算額	5,250,000 円								
圏域市長会とブロック経済協議会並びに観光協会会議が連携し、地域連携DMO組織として圏域全体の発展を見据え円滑な事務局運営体制を図る。	財 源 内 訳	市長会負担金		5,250,000 円								
		DMO会費		0 円								
		国・県支出金		0 円								
		補助金		0 円								
		その他		0 円								
<p>1. 事業内容</p> <p>(1) 圏域観光局総会・理事会の開催</p> <p>(2) 山陰DMOとの連絡会の開催</p> <p>(3) 観光局の運営に係る嘱託職員等の雇用</p> <p>(4) DMO組織の運営強化及び安定的な事務局運営の構築</p>												
<p>2. 経費内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;"></td> <td style="text-align: right;">DMO予算額</td> </tr> <tr> <td>・専従職員（嘱託職員）設置経費</td> <td style="text-align: right;">2,150,000 円</td> </tr> <tr> <td>・事務局運営費</td> <td style="text-align: right;">3,100,000 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">5,250,000 円</td> </tr> </table>						DMO予算額	・専従職員（嘱託職員）設置経費	2,150,000 円	・事務局運営費	3,100,000 円	計	5,250,000 円
	DMO予算額											
・専従職員（嘱託職員）設置経費	2,150,000 円											
・事務局運営費	3,100,000 円											
計	5,250,000 円											